

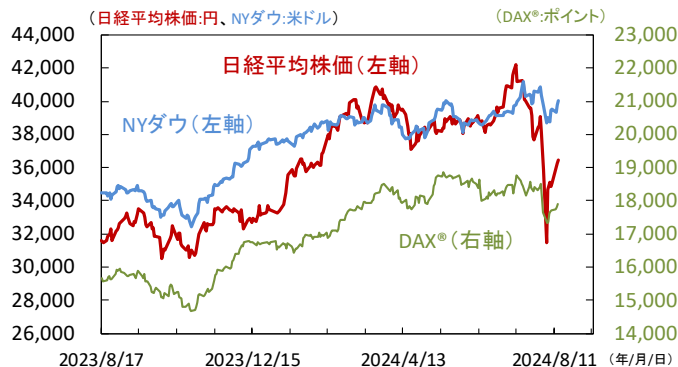
米国株は上昇、米7月消費者物価(CPI)がほぼ市場予想通りで安心感広がる

主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	8月14日	8月13日	前日差
日本	日経平均株価(円)	36,442.43	36,232.51	209.92
	-CME日経平均先物(円)	36,275.00	36,415.00	-140.00
	TOPIX(東証株価指数)	2,581.90	2,553.55	28.35
	参考)東証REIT指数	1,735.03	1,715.71	19.32
米国	NYダウ(米ドル)	40,008.39	39,765.64	242.75
	S&P500	5,455.21	5,434.43	20.78
	-S&P500配当貴族指数	4,552.64	4,540.72	11.93
	ナスダック総合指数	17,192.60	17,187.61	4.99
ドイツ	DAX®指数	17,885.60	17,812.05	73.55
英国	FTSE100指数	8,281.05	8,235.23	45.82
豪州	S&P/ASX200指数	7,850.70	7,826.80	23.90
中国	上海総合指数	2,850.65	2,867.95	-17.29
香港	ハンセン指数	17,113.36	17,174.06	-60.70
インド	S&P BSE SENSEX指数	79,105.88	78,956.03	149.85
ブラジル	ボベスパ指数	133,317.66	132,397.97	919.69
先進国	MSCI WORLD	3,522.42	3,501.91	20.51
新興国	MSCI EM	1,076.57	1,071.01	5.56
商品	(単位:米ドル)	8月14日	8月13日	前日差
原油	WTI先物(期近物)	76.98	78.35	-1.37
金	COMEX先物(期近物)	2,446.20	2,473.90	-27.70
10年国債利回り	(単位:%)	8月14日	8月13日	前日差
日本		0.812	0.846	-0.034
米国		3.839	3.847	-0.007
ドイツ		2.177	2.182	-0.005
オーストラリア		3.932	3.999	-0.067
為替(対円)	(単位:円)	8月14日	8月13日	前日比%
米ドル		147.31	146.82	0.33
ユーロ		162.22	161.40	0.51
英ポンド		188.93	188.78	0.08
カナダドル		107.38	107.13	0.23
オーストラリア(豪)ドル		97.17	97.38	▲0.22
NZ(ニュージーランド)ドル		88.33	89.23	▲1.01
シンガポールドル		111.87	111.40	0.43
中国人民幣		20.634	20.518	0.56
インドルピー		1.7541	1.7494	0.27
インドネシアルピア(100ルピア)		0.9395	0.9272	1.33
メキシコペソ		7.832	7.714	1.53
ブラジルリアル		26.909	26.916	▲0.03
トルコリラ		4.383	4.377	0.15
ロシアルーブル		1.6403	1.6224	1.10

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。
 MSCI WORLD、MSCI EMは米ドルベース。
 WTI(West Texas Intermediate)原油先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で取引される米国の代表的な原油先物。
 COMEX金先物: CMEグループを構成するニューヨーク商品取引所で取引される代表的な金先物。
 表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。
 前日差は原数値の比数であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。
 本資料は、作成時点でLSEGにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、LSEGにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載している場合があります。
 出所) MSCI、LSEGより当社経済調査室作成

主要国株式の動き



注) 直近値は2024年8月14日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

◆マーケットの動き:

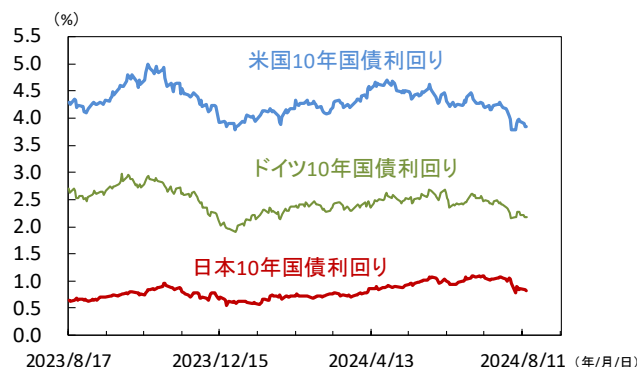
- 日本株上昇。序盤は前日の米ハイテク株高を好感も、前場中盤にかけ岸田文雄首相が9月自民党総裁選に出馬しない意向との報道が伝わり一時的に円高ドル安が進んで株価が下落に転じるなど、方向感の出難い展開に。
- 米国株上昇。7月米消費者物価(CPI)は総合が前年比+2.9%(予想+3.0%)、コアが同+3.2%(同+3.2%)とほぼ市場予想通りで安心感が広がる。他方、7月米CPI後に米利下げ観測が後退し、次回9月米連邦公開市場委員会(FOMC)で0.5%pt利下げを予想する確率は3割弱に低下。
- 米シカゴ連銀のグールズビー総裁はインフレと雇用のリスクバランスでは雇用の懸念を強めていると発言。
- 7月英消費者物価(CPI)は総合が前年比+2.2%(予想+2.3%)、サービスが同+5.2%(同+5.5%)と鈍化。先物市場(OIS)では年内2回程度の追加利下げを織り込む動き。
- NZドル安。NZ中銀が政策金利を5.50%→5.25%に引き下げ、景気急減速とインフレ鈍化で早期緩和に転換。中銀最新予測は今年4-6月期と7-9月期のマイナス成長を示唆、政策金利は来年末までに3.85%へ低下する見通し。

◆本日の注目点:

米景気後退懸念を払拭出来るか

米国は7月小売売上高が前月比+0.4%(6月0.0%)、7月鉱工業生産が同▲0.3%(同+0.6%)、新規失業保険申請件数(8月10日終了週)が23.5万件(前週23.3万件)と予想され、米景気後退懸念を払拭出来るか注目。小売ウォルマートと半導体製造装置アプライド・マテリアルズが決算発表。日本は4-6月期実質GDP(1次速報)が前期比年率+2.3%(前期▲2.9%)と反発が予想される。(田村)

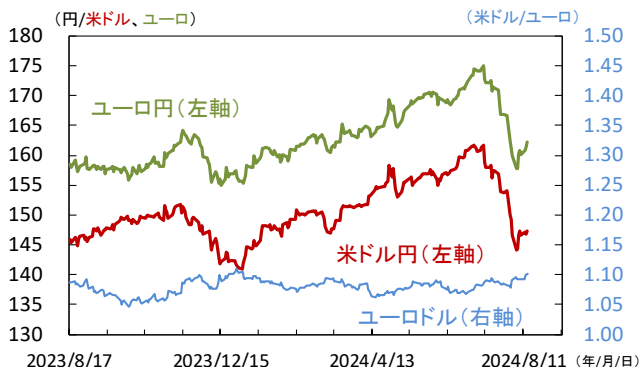
主要国金利の動き



注) 直近値は2024年8月14日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

主要通貨の動き



注) 直近値は2024年8月14日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
 TOPIX (東証株価指数)、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
 ドイツ「DAX®」: 本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。
 FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとし、FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。
 MSCI WORLD、MSCI EMに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会